

第一分科会

「育ちをささえる」

～こどもの豊かな育ちをささえる支援者になろう～

児童発達支援センターにおける 支援者養成について

2019年10月23日

うめだ・あけぼの学園 副園長

作業療法士 酒井康年

児童発達支援センターにおける 支援者養成について

- センター内部職員の養成
- 他機関の支援者、専門性、保育士
- 地域への貢献、ネットワークへの貢献

センター内部職員の養成

うめだ・あけぼの学園の特徴

法人理念の伝達 からしだね

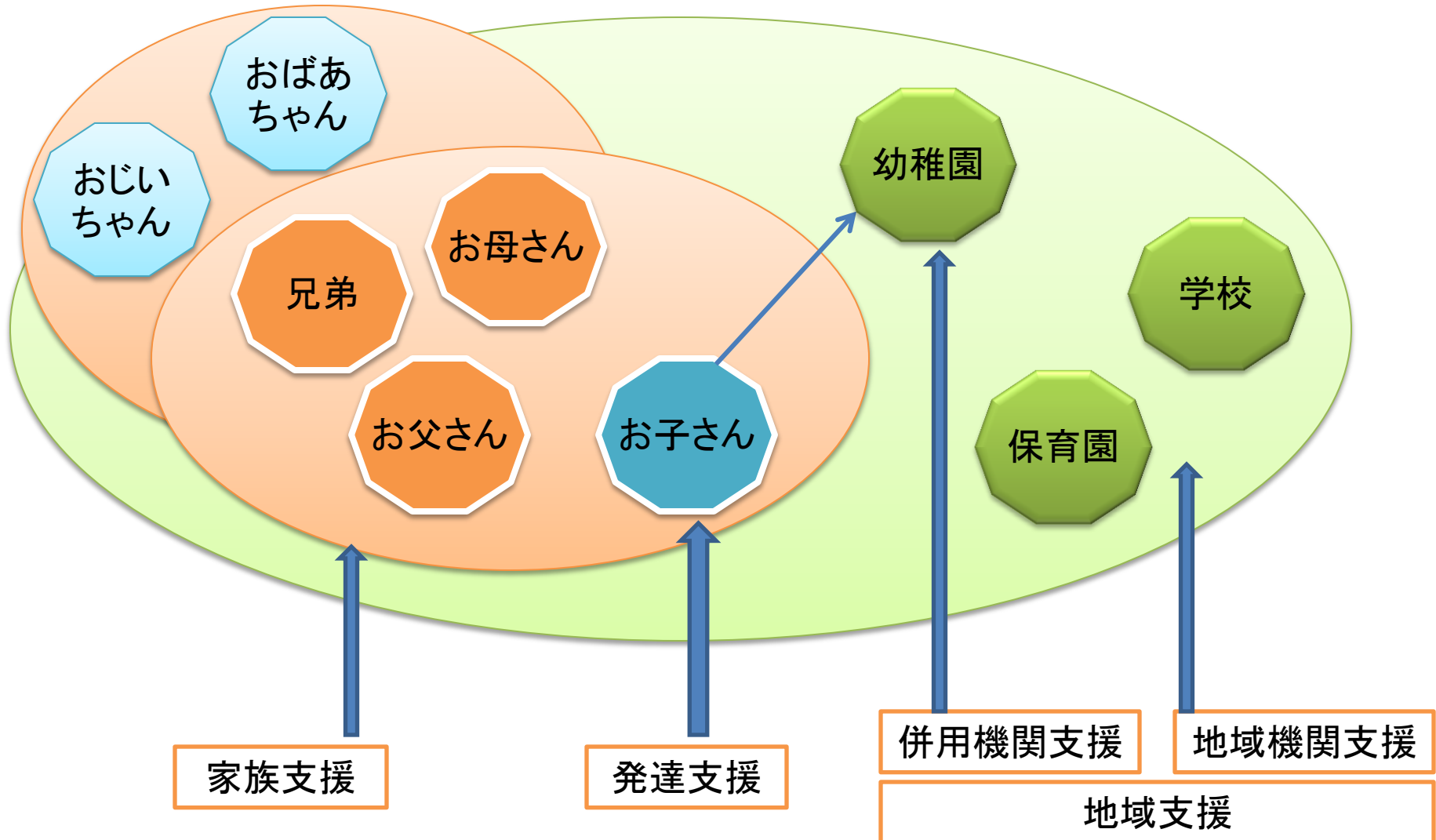
– マタイによる福音書13章31-32 天の国はからし種に似ている。人がこれを取って畑に蒔けば、どんな種よりも小さいのに、成長するとどの野菜よりも大きくなり、空の鳥が来て枝に巣を作るほどの木になる。

- 種をしっかりと育てること
- 育てた種を、地域にまいていくこと

三層構造による支援の実現

- 優先順位ではなく、必要性

支援における3層構造

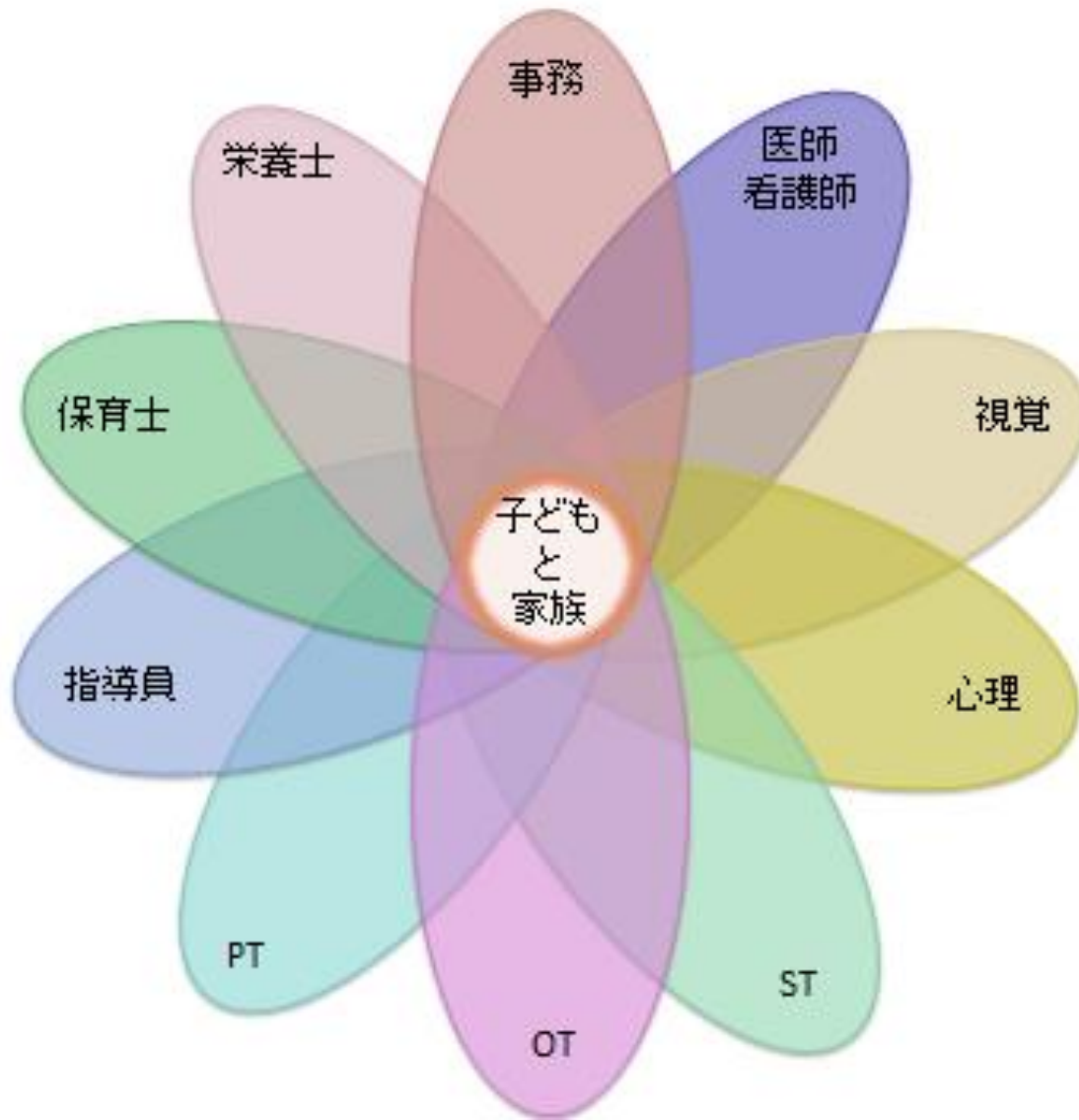


うめだ・あけぼの学園の特徴

- 学際的なチームアプローチ
 - 直接処遇職員も、間接処遇職員も含めた「チームあけぼの」
- モンテッソーリ教育を基盤とした、個を大切に
する支援と整備された環境・教材

Trans-disciplinary

既存の学問体系の枠組みが崩れ、新しい学問体系が生じる



人材育成の観点から見た うめだ・あけぼの学園の特徴

- 日々の朝礼における理念の共有・情報の共有・情報の整理
- 理念の共有と実現を目指した事業運営
- 採用の段階からの理念の紹介
- 職員のキャリア別研修の準備
- コンサルテーション・スーパーバイズシステムの整備
- 職員研修に対しての業務時間の確保
- 外部研修への職員派遣：基礎学会参加への奨励、学会発表等への補助
- 外部講師依頼に対する職員派遣
- 外部からの見学・研修の受け入れ
- 社会貢献活動としての他団体への所属・協力

外部支援に携わる職員の育成

外部支援に携わる職員の専門性

- 各職員が、各専門職として求められる専門性と、外部人材として他機関に関わる際の専門性は異なるという認識のもと、研修を実施する
- Off JT と On JT
 - 座学と演習と、実施後のスーパーバイズ
- 業務によっては、定期的な情報交換・情報共有を兼ねたミーティングの開催。理念の確認につながっていく
 - 特別支援学校外部専門家導入事業、保育所等訪問支援、保健センター乳幼児健診

地域支援で活用している制度

制度名	依頼元・委託元	対象施設	内容
特別支援学校 外部専門家導入事業	東京都 教育委員会	肢体不自由特別支援学校 知的障害特別支援学校	肢体不自由校では自立活動 知的校では教育支援員
知的障害児等 療育支援事業	東京都	施設支援一般	巡回相談のように、対象児を挙げてもらい、観察・相談が中心
巡回相談	各区市町村	幼稚園 小学校	対象児を挙げてもらい、観察・相談
専門家診断	各学校	通級学級	特定の児童について、評価・相談等
研究協議会	各研究会	区内小学校 区内特別支援学級研究会	研究授業の講評 年間研究テーマに関する講演会
研究活動協力	主催施設	主催施設 小学校、特別支援学校、 保育園	研究テーマを各施設で選定し、その内容に添って、年間複数回協力する
保育所等訪問支援	各区市町村	幼稚園・保育園・こども園 小学校・特別支援学校	

地域支援部の業務

内容	対象地域	単発・継続	回数・頻度
保健センター 職員派遣	足立区	継続 年間計画	各センターとも 月1～2回中心
学童保育巡回相談	足立区	年間計画	年間12回
幼稚園・小学校 巡回相談	依頼を受けたところ	単発	必要に応じて
特別支援学校	都内 近隣校	年間計画	別表
療育支援事業	都内	必要に応じて	必要に応じて
施設コンサルテーション	依頼を受けたところ	年間計画	4施設 各施設ごとに設定
同法人施設 支援	2施設(保育園)	必要に応じて	必要に応じて
その他	必要に応じて	講演会・研修会・研究会等への職員 派遣。原稿執筆等。	

地域への貢献、ネットワークへの貢献

地域ネットワークへの参加

- 足立区自立支援協議会各層の会議への積極的参画
 - 子ども部会 部会長
- 保健センター主催子育てネットワーク
- 要保護児童対策協議会への参画
- 特別支援学校主催の学校運営連絡協議会への参加
 - 7校
- 東京都児童発達支援管理責任者養成研修 への協力
- 東京都相談支援従事者養成研修 への協力

地域ネットワークへの参加

- ペアレントメンター 活動への協力
- 通所事業所の有志活動: 支援力向上研修への協力